

# 見学お役立ちシート

名称	豊前街道
住所	〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1776
電話番号	
地図URL	<a href="https://goo.gl/maps/cgntD9wno3MbMC9g8">https://goo.gl/maps/cgntD9wno3MbMC9g8</a>
営業時間 見学所要時間 (目安)	(参考情報) 米米惣門ツアー【問い合わせ・申し込みは山鹿温泉観光協会】 0968-43-2952 (毎週水曜、年末年始は休み) 所要時間：1時間 (希望日の前日までの申し込みが必要です。)
料金	ツアーの案内料 500円
駐車場・トイレ	豊前街道駐車場 (トイレなし)、惣門公園 (トイレあり)
時代	近現代
参考URL	
出典	<a href="https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1264133556536/files/yamagabunkazai.pdf">https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/www/contents/1264133556536/files/yamagabunkazai.pdf</a> 『山鹿のてびき』67～71頁
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近世 (江戸時代) の山鹿は、湯町と呼ばれた旧山鹿町を中心に発展してきた歴史があります。湯町は山鹿郡の政治、経済、文化の中心地として、宿場町、温泉町として繁栄してきました。</li> <li>・江戸時代中期になると菊池川の水運を利用して、高瀬町 (玉名) に物資を輸送する中継点、船着き場として重要な役割を果たすようになりました。特に米どころ菊池、山鹿地方の米穀は関西で寿司米として重用され、高瀬に運ばれたあと、大きな船に積み替えて大浜の海から長崎を回って阪神地方に輸出されました。</li> <li>・路地のことを山鹿地方では小路と呼んでいます。旧豊前街道、菊池往還などには多くの小路があり、生活道路として使われてきました。現在もその多くが残っており、小路をたどっていくと古い山鹿の歴史や史跡にであうことができます。「関口」は関所があった所に行く道、「菊池小路」は菊池に行く往還に向う道など様々な歴史を伝えています。</li> <li>・元広の豊前街道里数木跡は、近世の一里塚。熊本市新町の元標から五里の地点にあります。榎は枯れ、塚のみが残存します。</li> <li>・惣門は現在の山鹿の下町の地域を指します。菊池川に南面し、橋が架り、明治時代末までは船着き場があります。豊前街道と菊池川が交わる水陸交通の要衝の地でした。回船問屋や米問屋、酒蔵などが軒を連ね賑わっていました。当初は東惣門、西惣門でしたが、惣門だけとなり、現在は下町という町名です。江戸時代の旧山鹿町 (湯町) の南の玄関口だった構え門が復元されています。</li> <li>・米米惣門ツアーは、豊前街道に残る酒蔵や味噌蔵、街並みを紹介するツアーです。地元の商店主によるガイドで知らなかった山鹿の歴史、文化に触れることができます。</li> </ul>